

科 目 名	論理表現Ⅱ	普通科 2 年次・2 単位
目 標	・ 日常的・社会的話題について、使用する語句や文、対話の展開など一定の支援を活用し多様な語句や文を用いて情報や考えなどを伝え合ったり、相手と交渉したりすることができる。 (話すこと[やりとり]) ・ 日常的・社会的話題について、使用する語句や文、事前の準備など一定の支援を活用し多様な語句や文を用いて情報や考えなどを論理の構成や展開を工夫して伝えることができる。 (話すこと[発表]) ・ 日常的・社会的話題について、使用する語句や文、事前の準備など一定の支援を活用し多様な語句や文を用いて情報や考えなどを複数の段落からなる文章で論理的に詳しく書いて伝えることができる。(書くこと)	
位 置 づ け	昨年履修した「論理表現Ⅰ」の学習を踏まえ、3つの領域別の言語活動や複数の領域を結びつけた統合的な言語活動を通して、発信能力の強化を発展的に行う科目である。	

■使用する教材 ・ be English Logic and Expression Ⅱ clear (いっずな書店) ・ be English Logic and Expression Ⅱ clear Grammar Book (いっずな書店) ・ 総合英語 be 4th Edition (いっずな書店) ・ Focus on Listening Pre-Standard (エミル出版) ・ Vintage 3rd Edition (いっずな書店)		■学習する単元とおおよその時期 ・ Lesson1 情報をたずねる・時制【4月】 ・ Lesson2 相手を誘う・名詞句／名詞節【5月】 ・ Lesson3 交渉する・助動詞【5月】 ・ Lesson4 意見を言う・形容詞【6月】 ・ Lesson5 相手の意見を聞く・形容詞句【6月】 ・ Lesson6 提案する・形容詞節【7月】 ・ Lesson7 同意する／しないを表す・副詞【8～9月】 ・ Lesson8 確認する・副詞句【9月】 ・ Lesson9 あいづち・副詞節【10月】 ・ Lesson10 グラフや図・比較【10月】 ・ Lesson11 理由をたずねる・仮定法【11月】 ・ Lesson12 感謝を伝える・接続詞【11月】 ・ Lesson13 共感する・「ある」「なる」「かかる」【12月】 ・ Lesson14 反論する前にクッションを置く 使役動詞／知覚動詞【1月】 ・ Lesson15 話を切り出す・無生物主語【2月】 ・ Presentation／Discussion【3月】	
■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法 ・ 教材テキストの内容を5領域を駆使し把握する。 ・ リスニング教材で必要な情報を聞き取る。【通年】 ・ 把握した内容を適切な語句で口頭により伝える。 ・ 文法・語法小テストを行う。【10月～3月】			

■観点別評価について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	A ・英語の仕組みや言葉の働きについて理解を深めている。 ・コミュニケーションにおいて5領域を用い、適切に活用できる技能を身につけている。	・コミュニケーションにおいて話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、表現したり伝え合ったりしている。	・言語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的・自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
	B ・英語の仕組みや言葉の働きについて理解している。	・コミュニケーションにおいて話し手や書き手の意図などがある程度理解している。	・言語の背景にある文化を理解し、コミュニケーションを図ろうとしている。
	C 上記が達成できていない	上記が達成できていない	上記が達成できていない
評価の場面	定期考査、単元テスト 小テスト 課題の提出内容	定期考査、単元テスト 授業中の発言内容	授業中の参加態度 課題の提出状況

